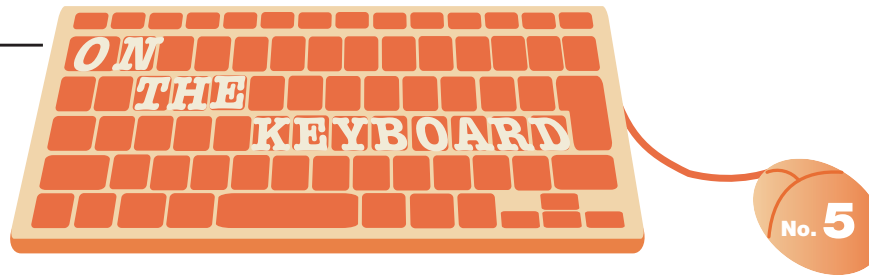


By Maya Jones



マヤ・ジョーンズ

1994年、英国・イングランド南東に位置するハンプシャー州生まれ。父親が英国人、母親がコロンビア人という家庭で育ち、幼少期から外国語と異文化に興味を抱く。2021年、ロンドン大学卒。専攻は日本語。在学中に来日し、1年間、東京外国語大学で学んだ。英国で開催された大学生対象の日本語スピーチコンテストで優勝するなど、卓越した日本語力を生かし、22年9月から東京都大田区の「おおた国際交流センター(Minto Ota)」で国際交流員として多文化共生を促進する仕事に従事している。趣味は絵画、写真、旅行、音楽・美術鑑賞など多岐にわたる。

British primary school strives to be a playground of imagination

In Britain, elementary school is called “primary school” and is attended from the ages of 4 to 11. The primary school I attended opened in 1887, making it the oldest school in the whole of Hampshire, my home county.

Its Victorian-era building remains mostly unchanged to this day, and **boasts** many period features such as large windows, high ceilings and even an **ornate bell tower**.

My school uniform was green with a frog motif. I’ve always loved frogs, so I **took a particular**

liking to it. Girls **got to** choose between trousers and skirts — I was **a bit of a tomboy**, so I went with trousers. They were a lot easier to play in, too!

One of my favorite things about school in the United Kingdom was the number of special event days there were. On “**mufti** day,” we got to attend school wearing our own clothes instead of our uniform.

“Crazy hair day” was a day on which students **sported** wildly **unconventional** hairstyles. Some children **opted for** temporary

dyes, while others **braided** their hair into **intricate** designs. I’ll never forget the year my mother helped me tie balloons into mine!

I looked forward to “fancy dress day” the most, on which you could turn up to school in a costume of your choosing. As my mother is a talented **seamstress**, she would make all of my **outfits** by hand. I dressed as a pirate, a mermaid, an Egyptian queen and many other characters.

What did you like best about your childhood school?

音声は本文と一部異なる場合があります。

strive(s) to be
(見出しから)～であることを目指す、～になるよう努める

boast(s)
～を誇る

ornate
凝った装飾の
bell tower
鐘楼

took(take)...to
～を特に気に入った
got(get) to
～する機会があった

a bit of
ちょっとした～
tomboy
おてんば

mufti
(制服に対して)私服、平服

sport(ed)
～を身に付けた、着た
unconventional
型にはまらない

opt(ed) for
～を選んだ

braid(ed)
～を編んだ

intricate
複雑な

seamstress
仕立て屋、裁縫師

outfit(s)
洋服、衣服

対訳 英国の小学校は想像力の遊び場を目指しています

英国では小学校(米国英語で elementary school)を「primary school」と呼び、4～11歳が就学します。私が通った小学校は1887年創立で、故郷ハンプシャー州で一番歴史のある学校でした。

ビクトリア朝時代の建物は今日に至るまでほぼ変わらない姿を保っており、大きな窓、高い天井、さらには凝った装飾の鐘楼(しょうろう)まで、同時代を象徴する多くの特徴を備えています。

学校の制服は緑で、カエルのモチーフが付いていました。カエルはもともと大好きなので特に気に入っていました。女子はズボンかスカートかを選ぶことができ、私はおてんばだったのでズボンにしました。よっぽど遊びやすかったですし!

英国の学校について好きだったことの一つは、特別な催し物がある日の数(の多さ)です。「私服の日」には、制服ではなく自分の服を着て学校に行くことができました。

た。

「クレイジーな髪の日」は、生徒たちが型破りの髪型をする日でした。一時的なカラーリングをする子もいれば、髪を複雑なデザインに編み込む子もいました。母がいくつかの風船を私の髪に結び付けるのを手伝ってくれた年のことは、決して忘れることがないでしょう!

好きな格好で学校に来ていいという「仮装デー」が一番楽しみでした。母は裁縫が得意なので、私の衣装を全て手作りしてくれました。私は海賊、人魚、エジプトの女王、その他さまざまなキャラクターに仮装しました。

皆さんが子どもの頃に通っていた学校で、一番好きだったことは何ですか?

(訳 田端節子)